



株式会社ブリヂストン松山タイヤセンター SDGs宣言

当社は、「誠実・創造・仕事は自作自演」という経営理念のもと、
事業活動を通じて「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に貢献し、
地域課題の解決および、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

2020年12月1日

株式会社ブリヂストン松山タイヤセンター

代表取締役社長 加藤 定伸



重点項目(ターゲット2030)

サーキュラーエコノミーへの貢献

サーキュラーエコノミーの実現に貢献することで、
環境問題を緩和するだけでなく、新しいビジネスを創出し、
持続可能な経済成長につなげてまいります。

【主な取り組み】

使用済みタイヤの有効利用(エネルギー利用)、
リトレッドビジネス

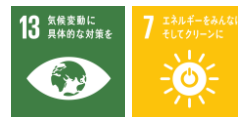


CO2排出総量の削減

商品のライフサイクル、バリューチェーン全体を通じた
削減促進に向けて、断トツの商品・断トツのサービスに
よるソリューションにより、顧客価値を提供しながら、
CO2削減に貢献してまいります。

【主な取り組み】

低燃費タイヤの販売促進、再生可能エネルギーの活用(予定)



基本的人権と責任ある労働慣行の推進

一人ひとりの生活に寄り添いながら働き方を多様化
することで、従業員の生産性や付加価値を増加させる
とともに、多様な働き方を尊重し、エンゲージメントを向
上することで、人的資源の最大化を目指します。

【主な取り組み】

ダイバーシティの推進(定年の延長、女性活躍、女性
役員の積極登用)、差別やハラスメントの禁止、適正
な労働環境整備の推進



安全はすべてに優先する

安全は当社企業経営の基盤です。ブレない、妥協し
ない、例外をつくらない安全活動を推進し、誇りをもて
るパーフェクトな安全企業を目指します。

【主な取り組み】

安全ルール、公正な取引の遵守、厳正な情報管理



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」とは

- ・ 貧困、気候変動、人種・性差別、働き方などのさまざまな問題が顕在化する中、持続可能な社会をつくるために国連が定めた国際目標です。2030年までに解決すべき優先課題として、17の目標と169のターゲットが示されています。
- ・ 目標を達成するために、国連や政府だけでなく、企業やNPO、個人等が幅広く担い手として活躍するよう期待されています。
- ・ 企業がSDGsに取り組むことで、「気候変動をはじめ経営環境が変化していく中でも持続可能な組織である」と示すことにつながります。